葬儀情報紙 2018 December 12
光琳会館ニュース

総合葬祭 有限会社ふくし葬祭
FUKUSHI SOUSAI セレモニーホール 光琳会館
福岡県田川郡川崎町池尻４１９－１
TEL 0947-46-3399
ふくし葬祭HP QRコード

～お葬儀屋さんのひとりごと～

お骨壷のお話 ①

大切な家族を失った時、多くの家庭では残された人達はお葬式を経て最後にその遺骨をどうするのかという選択をしなければいけませんよね。
お寺に納骨するか、それとも、分骨して遺骨を傍に置いて供養していくのか等、選択は自身の宗派の供養の仕方によるところもあるでしょうが、家族の心情によるところも大きいかと思います。
今回は遺骨を迎えた際に一度は疑問に思う骨壷や副装備品の選び方をご紹介したいと思います。骨壷を選ぶという機会も生きていてそう何回もあるものではないと思いますが、本当に必要になった時、ああすれば良かった、という後悔が無いよう骨壷について詳しくなっていただけたらと思います。

1. 骨壷を選ぶ4つの基準

骨壷を選ぶ基準は、大きさ・見た目・用途・価格の4つに大きく分けられるかと思います。
日本の東西によって選ばれる骨壷の大きさは異なりますし、一見白塗りの骨壷しか無いのかと思いきやそういう訳でもありません。ここでは、選ぶ基準を大まかに３つに分けてご説明していきます。
皆さんがその遺骨を入れる骨壷を選ぶ一つの手がかりになればと思います。

1-1. サイズは２寸から尺寸まで

販売されている骨壷のサイズの目安は以下の通りです。

大きさ	2寸	2.5寸	3寸	4寸	5寸	6寸	7寸	8寸	尺寸
直　径	6.2cm	7.4cm	9.5cm	12.4cm	15.5cm	18.0cm	21.0cm	24.5cm	31.5cm
用　途	分骨 手元供養	分骨 手元供養			納骨用	西日本で 使用	東日本で 使用	改葬 合葬	

一般的に、よく使われるのは５寸～7寸の骨壷になります。どのサイズを用いるかは、関東か関西かという地域差や、全部拾骨するのか一部しか拾骨しないのか、納骨堂に収めるのか等、により選ぶ骨壷が違ってきます。
ちなみに、1寸は約3cmですので、ここで言う6寸とは直径が上記の表のように約18cmの大きさの骨壷ということになります。また、骨壷の形状は大きく分けて、白並（一般的な骨壷のタイプ。蓋部分のツメが内側に折れ込んでいる）と、切立（きりたて）（蓋が骨壷の胴体の上にかぶさるようになっている）の2種類があります。この2つを比べると、切立の方が中に湿気が溜まりにくいと言われています。

1-2. 見た目は一見カラフルな壺？！

骨壷と言えば、白い陶磁器製のものを思い浮かべますよね。でも実際には、表面に多種多様なお花などの模様が施されているものや、陶器自体が色付きでそもそも白ではなかったり、自然石で作られているものなどもあります。中には、九谷焼や有田焼、備前焼といった有名な焼き物の骨壷などもあり、骨壷一つ見た目から選ぶにしてもかなりの選択肢があると言えます。焼き物に至っては、形も一般的なものとは全然違い蓋のある壺として家に飾ってあっても違和感がないような独創的なものが多いようです。

1-3. 骨壷の価格はピンキリ！

もしも他者とは違う一味違った骨壷をお探しでしたら、骨壷の細工や何で出来ているのかという観点で探してみるのも良いかもしれません。当然ですが、骨壷は大きくなる程に高価になります。同じように、手の込んだ物程高価になります。骨壷の価格は、数千円～十万円以上の物まで様々です。
ここで、骨壷に個性を持たせたいとお考えになった場合、白並ではなく切立にしようとか、焼き物にしようとか、骨壷を購入する時に自分が一番何を重視したいのかを決めた上で選ばれることをおすすめします。